



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS セキュリティの **show** コマンドについて説明します。

show aaa accounting

AAA アカウンティング設定情報を表示するには、**show aaa accounting** コマンドを使用します。

```
show aaa accounting
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、アカウンティング ログの設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa accounting
      default: local
```

show aaa authentication

AAA 認証設定情報を表示するには、**show aaa authentication** コマンドを使用します。

show aaa authentication [login error-enable | login mschap]

シンタックスの説明	
login error-enable	(任意) 認証ログイン エラー メッセージ イネーブル コンフィギュレーションを表示します。
login mschap	(任意) 認証ログイン MS-CHAP イネーブル コンフィギュレーションを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、設定された認証パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication
      default: local
      console: local
      dot1x: not configured
      eou: not configured
```

次に、認証ログイン エラー イネーブル設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login error-enable
disabled
```

次に、認証ログイン MSCHAP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login mschap
disabled
```

show aaa groups

AAA サーバ グループ設定を表示するには、**show aaa groups** コマンドを使用します。

show aaa groups

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、AAA グループ情報を表示する例を示します。

```
switch# show aaa groups
radius
TacServer
```

show aaa user default-role

AAA ユーザ デフォルト ロール設定を表示するには、**show aaa user default-role** コマンドを使用します。

show aaa user default-role

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン AAA ユーザ デフォルト ロールを設定するには、**aaa user default-role** コマンドを使用します。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、AAA ユーザ デフォルト ロール設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa user default-role
enabled
```

コマンド	説明
aaa user default-role	AAA ユーザ デフォルト ロールをイネーブルにします。

show access-lists

すべての IPv4 および MAC Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) または特定の ACL を表示するには、**show access-lists** コマンドを使用します。

```
show access-lists [access-list-name] [expanded | summary]
```

シンタックスの説明	
<i>access-list-name</i>	(任意) ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
expanded	(任意) オブジェクト グループの名前だけでなく、オブジェクト グループの内容を表示することを指定します。
summary	(任意) コマンドが ACL に関する情報を表示することを指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *access-list-name* 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての ACL を表示します。

expanded キーワードを使用すると、オブジェクト グループの名前だけでなく、ACL で使用されているオブジェクト グループの詳細を表示できます。オブジェクト グループに関する詳細については、**object-group ip address** および **object-group ip port** コマンドを参照してください。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用される際の ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなります。
- ACL が適用されているインターフェイス
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス

show access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、IP ACL および MAC ACL が 1 つずつ設定されたデバイスで、ACL 名を指定せずに **show access-lists** コマンドを使用する例を示します。

```
switch# show access-lists

IP access list ip-v4-filter
  10 permit ip any any
MAC access list mac-filter
  10 permit 00c0.4f00.0000 0000.00ff.ffff 0060.3e00.0000 0000.00ff.ffff ip
```

次に、**show access-lists** コマンドを使用して、MainLab オブジェクト グループを除くエントリのエントリ単位の統計情報を含めて、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp addrgroup MainLab any eq telnet
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**show access-lists** コマンドを使用して、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。**expanded** キーワードを使用すると、エントリ単位の統計情報を含めて、前の例のオブジェクト グループの内容が表示されます。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web expanded

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp 10.52.34.4/32 any eq telnet [match=5032]
  1005 permit tcp 10.52.34.27/32 any eq telnet [match=433]
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web summary
IPV4 ACL ipv4-RandD-outbound-web

  Statistics enabled
  Total ACEs Configured: 4
  Configured on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
  Active on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip access-list	IPv4 ACL を設定します。
mac access-list	MAC ACL を設定します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。

show accounting log

アカウントティングのログ内容を表示するには、**show accounting log** コマンドを使用します。

show accounting log [*size*] [*start-time year month day HH:MM:SS*]

シンタックスの説明	
<i>size</i>	(任意) 表示するログのサイズ (バイト単位)。範囲は 0 ~ 250000 です。
start-time year month day <i>HH:MM:SS</i>	(任意) 開始時間を指定します。 <i>year</i> 引数は、yyyy フォーマットです。 <i>month</i> 引数は、3 文字の英語の略語です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。 <i>HH:MM:SS</i> 引数は、標準 24 時間フォーマットです。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、アカウントティング ログ全体を表示する例を示します。

```
switch# show accounting log

Sat Feb 16 10:44:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 10:44:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 10:45:20 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log
file start-time 2008 Feb 16 10:44:11
Sat Feb 16 10:45:23 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting
log start-time 2008 Feb 16 10:08:57
Sat Feb 16 10:45:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 10:45:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 10:46:20 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log
file start-time 2008 Feb 16 10:45:11
Sat Feb 16 10:46:22 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting
```

次に、アカウントティング ログの 400 バイトを表示する例を示します。

```
switch# show accounting log 400

Sat Feb 16 21:15:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 18:31:21
Sat Feb 16 21:15:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 21:15:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
```

次に、2008年2月16日の16:00:00に開始するアカウントリングログを表示する例を示します。

```
switch(config)# show accounting log start-time 2008 Feb 16 16:00:00

Sat Feb 16 16:00:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 15:59:16
Sat Feb 16 16:00:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:00:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:00:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:01:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:00:16
Sat Feb 16 16:01:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:01:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:01:29 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:02:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:01:16
Sat Feb 16 16:02:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:02:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear accounting log</code>	アカウントリングログを消去します。

show arp access-lists

すべての ARP Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) または特定の ARP ACL を表示するには、**show arp access-lists** コマンドを使用します。

```
show arp access-lists [access-list-name]
```

シンタックスの説明	<i>access-list-name</i> (任意) ARP ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------------	--

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<i>access-list-name</i> 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての ARP ACL を表示します。
-------------------	---

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例	次に、 show arp access-lists コマンドを使用して、2 つの ARP ACL を持つデバイスですべての ARP ACL を表示する例を示します。
----------	---

```
switch# show arp access-lists

ARP access list arp-permit-all
10 permit ip any mac any
ARP access list arp-lab-subnet
10 permit request ip 10.32.143.0 255.255.255.0 mac any
```

次に、**show arp access-lists** コマンドを使用して、arp-permit-all という名前の ARP ACL を表示する例を示します。

```
switch# show arp access-lists arp-permit-all

ARP access list arp-permit-all
10 permit ip any mac any
```

関連コマンド	コマンド 説明
	arp access-list ARP ACL を設定します。
	ip arp inspection filter VLAN に ARP ACL を適用します。

show class-map type control-plane

コントロールプレーンクラス マップ情報を表示するには、**show class-map type control-plane** コマンドを使用します。

```
show class-map type control-plane [class-map-name]
```

シンタックスの説明	<i>class-map-name</i> (任意) コントロールプレーンクラス マップの名前
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------------	--

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。 このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
-------------------	---

例	次に、コントロールプレーンクラス マップ情報を表示する例を示します。
----------	------------------------------------

```
switch# show class-map type control-plane

class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-grp name copp-system-acl-arp
  match access-grp name copp-system-acl-msdp

class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-grp name copp-system-acl-gre
  match access-grp name copp-system-acl-tacas

class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-grp name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
```

show copp status

Control Plane Policing (CoPP) 設定ステータスを表示するには、**show copp status** コマンドを使用します。

show copp status

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、CoPP 設定ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show copp status
Last Config Operation: service-policy input copp-system-policy
Last Config Operation Timestamp: 21:57:58 UTC Jun 4 2008
Last Config Operation Status: Success
Policy-map attached to the control-plane: new-copp-policy
```

show cts

グローバル Cisco TrustSec 設定を表示するには、**show cts** コマンドを使用します。

show cts

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec グローバル設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts
CTS Global Configuration
=====
CTS support           : enabled
CTS device identity  : Device1
CTS caching support  : disabled

Number of CTS interfaces in
DOT1X mode : 0
Manual mode : 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts credentials

Cisco TrustSec デバイスの証明書設定を表示するには、**show cts credentials** コマンドを使用します。

show cts credentials

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec 証明書設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts credentials
CTS password is defined in keystore, device-id = Device1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts environment-data

グローバル Cisco TrustSec 環境データを表示するには、**show cts environment-data** コマンドを使用します。

show cts environment-data

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

NX-OS デバイスは、デバイスの Cisco TrustSec 証明書を設定し、Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウンティング) を設定したあと、ACS から Cisco TrustSec 環境データをダウンロードします。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec 環境データを表示する例を示します。

```
switch# show cts environment-data
CTS Environment Data
=====
Current State           : CTS_ENV_DNLD_ST_ENV_DOWNLOAD_DONE
Last Status             : CTS_ENV_SUCCESS
Local Device SGT        : 0x0002
Transport Type          : CTS_ENV_TRANSPORT_DIRECT
Data loaded from cache  : FALSE
Env Data Lifetime       : 300 seconds after last update
Last Update Time        : Sat Jan  5 16:29:52 2008

Server List              : ACSServerList1
      AID:74656d706f72617279 IP:10.64.65.95 Port:1812
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts interface

インターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示するには、**show cts interface** コマンドを使用します。

```
show cts interface {all | ethernet slot/port}
```

シンタックスの説明

all	すべてのインターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示します。
interface slot/port	特定のインターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーションモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、すべてのインターフェイスの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts interface all
CTS Information for Interface Ethernet2/24:
CTS is enabled, mode:    CTS_MODE_DOT1X
IFC state:              CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
Authentication Status:  CTS_AUTHC_SUCCESS
  Peer Identity:        indial
  Peer is:              CTS Capable
  802.1X role:         CTS_ROLE_AUTH
  Last Re-Authentication:
Authorization Status:   CTS_AUTHZ_SUCCESS
  PEER SGT:            2
  Peer SGT assignment: Trusted
  Global policy fallback access list:
SAP Status:             CTS_SAP_SUCCESS
  Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
  Replay protection: Enabled
  Replay protection mode: Strict
  Selected cipher: GCM_ENCRYPT
  Current receive SPI: sci:1b54c1fbff0000 an:0
  Current transmit SPI: sci:1b54c1fc000000 an:0

CTS Information for Interface Ethernet2/25:
CTS is enabled, mode:    CTS_MODE_DOT1X
IFC state:              CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
Authentication Status:  CTS_AUTHC_SUCCESS
  Peer Identity:        indial
  Peer is:              CTS Capable
  802.1X role:         CTS_ROLE_SUP
  Last Re-Authentication:
Authorization Status:   CTS_AUTHZ_SUCCESS
  PEER SGT:            2
  Peer SGT assignment: Trusted
  Global policy fallback access list:
SAP Status:             CTS_SAP_SUCCESS
  Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
  Replay protection: Enabled
  Replay protection mode: Strict
  Selected cipher: GCM_ENCRYPT
  Current receive SPI: sci:1b54c1fc000000 an:0
  Current transmit SPI: sci:1b54c1fbff0000 an:0
```

次に、特定のインターフェイスの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts interface ethernet 2/24
CTS Information for Interface Ethernet2/24:
CTS is enabled, mode:    CTS_MODE_DOT1X
IFC state:              CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
Authentication Status:  CTS_AUTHC_SUCCESS
  Peer Identity:        indial
  Peer is:              CTS Capable
  802.1X role:         CTS_ROLE_AUTH
  Last Re-Authentication:
Authorization Status:   CTS_AUTHZ_SUCCESS
  PEER SGT:            2
  Peer SGT assignment: Trusted
  Global policy fallback access list:
SAP Status:             CTS_SAP_SUCCESS
  Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
  Replay protection: Enabled
  Replay protection mode: Strict
  Selected cipher: GCM_ENCRYPT
  Current receive SPI: sci:1b54c1fbff0000 an:0
  Current transmit SPI: sci:1b54c1fc000000 an:0
```

表 1 は、`show cts interface` コマンド出力で表示される値に関する情報を提供します。

表 1 show cts interface コマンド出力の値の説明

値	説明
認証ステータス フィールド	
CTS_AUTHC_INIT	認証エンジンは、初期状態です。
CTS_AUTHC_SUCCESS	認証が正常に行われました。
CTS_AUTHC_NO_RESPONSE	Cisco Access Control Server (ACS) に到達できません。Cisco ACS から応答がありません。
CTS_AUTHC_UNAUTHORIZED	認証が進行中です。
CTS_AUTHC_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが認証プロセスを省略する必要があることを示しています。
CTS_AUTHC_REJECT	Cisco ACS は、認証要求を拒否しました。
許可ステータス フィールド	
CTS_AUTHZ_INIT	許可エンジンは、初期状態です。
CTS_AUTHZ_SUCCESS	許可が正常に行われました。
CTS_AUTHZ_REJECT	ACS が許可要求を拒否しました。
CTS_AUTHZ_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが許可プロセスを省略する必要があることを示しています。
CTS_AUTHZ_POL_ACQ_FAILURE	許可ポリシー獲得が失敗しました。
CTS_AUTHZ_HW_FAILURE	ハードウェア許可プログラミングが失敗しました。
CTS_AUTHZ_RBACL_FAILURE	Security Group Access Control Group (SGACL) のダウンロードとインストールが失敗しました。
CTS_AUTHZ_INCOMPLETE	許可が進行中です。
SAP ステータス フィールド	
CTS_SAP_INIT	Security Association Protocol (SAP) ネゴシエーションが初期状態です。
CTS_SAP_SUCCESS	SAP ネゴシエーションが正常に行われました。
CTS_SAP_FAILURE	SAP ネゴシエーションが失敗しました。
CTS_SAP_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが SAP ネゴシエーションを省略する必要があることを示しています。
CTS_SAP_REKEY	SAP キーの再生成が進行中です。
CTS_SAP_INCOMPLETE	SAP ネゴシエーションが進行中です。

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts pacs

EAP-FAST によってプロビジョニングされた Cisco TrustSec Protect Access Credentials (PAC) を表示するには、**show cts pacs** コマンドを使用します。

show cts pacs

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec グローバル設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts pacs
PAC Info :
=====
PAC Type           : unknown
AID                 : 74656d706f72617279
I-ID                : india1
AID Info            : ACS Info
Credential Lifetime : Thu Apr  3 00:36:04 2008

PAC Opaque          : 0002008300020004000974656d706f7261727900060070000101001d
6321a2a55fa81e05cd705c714bea116907503aab89490b07fcbb2bd455b8d873f21b5b6b403eb1d8
125897d93b94669745cfe1abb0baf01a00b77aacf0bda9fbaf7dcd54528b782d8206a7751afdde42
1ff4a3db6a349c652fea81809fba4f30b1fffb7bfffaf9a6608
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based access-list

グローバル Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) 設定を表示するには、**show cts role-based access-list** コマンドを使用します。

show cts role-based access-list

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec SGACL 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based access-list
rbacl:test-3
    deny ip
rbacl:test-1
    deny ip
    deny icmp
    deny tcp src eq 1000 dest eq 2000
    deny udp src range 1000 2000
rbacl:test-2
    permit icmp
    permit igmp
    permit tcp src lt 2000
    permit udp dest gt 4000
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based enable

VLAN および Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) イネーブル ステータスを表示するには、**show cts role-based enable** コマンドを使用します。

show cts role-based enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec SGACL 強制ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based enable

vlan:1
vrf:1
vrf:3
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based policy

グローバル Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) ポリシーを表示するには、**show cts role-based policy** コマンドを使用します。

show cts role-based policy

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec SGACL ポリシーを表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based policy

sgt:unknown
dgt:unknown      rbacl:test-2
    permit icmp
    permit igmp
    permit tcp src lt 2000
    permit udp dest gt 4000

sgt:1000
dgt:2000         rbacl:test-1
    deny ip
    deny icmp
    deny tcp src eq 1000 dest eq 2000
    deny udp src range 1000 2000

sgt:any
dgt:any          rbacl:test-3
    deny ip
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based sgt-map

グローバル Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) マッピング設定を表示するには、**show cts role-based sgt-map** コマンドを使用します。

show cts role-based sgt-map

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコンフィギュレーションモード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec SGT マッピング設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based sgt-map
IP ADDRESS          SGT          VRF/VLAN          SGT CONFIGURATION
5.5.5.5              5            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.6              6            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.7              7            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.8              8            vlan:10           CLI Configured
10.10.10.10          10           vrf:3             CLI Configured
10.10.10.20          20           vrf:3             CLI Configured
10.10.10.30          30           vrf:3             CLI Configured
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts sxp

Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 設定を表示するには、**show cts sxp** コマンドを使用します。

show cts sxp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec SXP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts sxp
CTS SXP Configuration:
SXP enabled
SXP retry timeout:60
SXP reconcile timeout:120
```

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts sxp connection

Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 接続情報を表示するには、**show cts sxp connection** コマンドを使用します。

show cts sxp connection

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 接続情報を表示する例を示します。

```
switch# show cts sxp connection
PEER_IP_ADDR    VRF          PEER_SXP_MODE  SELF_SXP_MODE  CONNECTION STATE
10.10.3.3       default      listener        speaker         initializing
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show dot1x

802.1X 機能ステータスを表示するには、**show dot1x** コマンドを使用します。

show dot1x

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、802.1X 機能ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show dot1x
      Sysauthcontrol Enabled
      Dot1x Protocol Version 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature dot1x	802.1X 機能をイネーブルにします。

show dot1x all

すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示するには、**show dot1x all** コマンドを使用します。

show dot1x all [details | statistics | summary]

シンタックスの説明

details	(任意) 802.1X 設定に関する詳細情報を表示します。
statistics	(任意) 802.1X 統計情報を表示します。
summary	(任意) 802.1X 情報の要約を表示します。

デフォルト

グローバルおよびインターフェイスの 802.1X 設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show dot1x all
      Sysauthcontrol Enabled
      Dot1x Protocol Version 2

Dot1x Info for Ethernet2/1
-----
          PAE = AUTHENTICATOR
      PortControl = FORCE_AUTH
          HostMode = SINGLE_HOST
ReAuthentication = Disabled
      QuietPeriod = 60
      ServerTimeout = 30
      SuppTimeout = 30
      ReAuthPeriod = 3600 (Locally configured)
          ReAuthMax = 2
              MaxReq = 2
                  TxPeriod = 30
RateLimitPeriod = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dot1x	802.1X 機能をイネーブルにします。

show dot1x interface ethernet

イーサネット インターフェイスの 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示するには、**show dot1x interface ethernet** コマンドを使用します。

```
show dot1x interface ethernet slot/port [details | statistics | summary]
```

シンタックスの説明

<i>slot/port</i>	インターフェイスのスロットおよびポートの ID
details	(任意) インターフェイスの詳細な 802.1X 情報を表示します。
statistics	(任意) インターフェイスの 802.1X 統計情報を表示します。
summary	(任意) インターフェイスの 802.1X 情報の要約を表示します。

デフォルト

インターフェイス 802.1X 設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、イーサネット インターフェイスの 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show dot1x interface ethernet 2/1

Dot1x Info for Ethernet2/1
-----
                PAE = AUTHENTICATOR
      PortControl = FORCE_AUTH
        HostMode = SINGLE_HOST
ReAuthentication = Disabled
  QuietPeriod = 60
  ServerTimeout = 30
  SuppTimeout = 30
  ReAuthPeriod = 3600 (Locally configured)
    ReAuthMax = 2
      MaxReq = 2
      TxPeriod = 30
RateLimitPeriod = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dot1x	802.1X 機能をイネーブルにします。

show eou

Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) ステータスおよび設定情報を表示するには、**show eou** コマンドを使用します。

```
show eou [all | authentication {clientless | eap | static} | interface ethernet slot/port | ip-address
ipv4-address | mac-address mac-address | posturetoken [name]]
```

シンタックスの説明

all	(任意) すべての EAPoUDP セッションを表示します。
authentication	(任意) 特定の認証タイプの EAPoUDP セッションを表示します。
clientless	クライアントレス ポスチャ検証を使用して認証されたセッションを指定します。
eap	EAPoUDP を使用して認証されたセッションを指定します。
static	静的に設定された例外リストを使用して静的に認証されたセッションを指定します。
interface ethernet slot/port	(任意) 特定のインターフェイスの EAPoUDP セッションを表示します。
ip-address ipv4-address	(任意) 特定の IPv4 アドレスの EAPoUDP セッションを表示します。
mac-address mac-address	(任意) 特定の MAC アドレスの EAPoUDP セッションを表示します。
posturetoken [name]	(任意) ポスチャ トークンの EAPoUDP セッションを表示します。
name	(任意) トークン名

デフォルト

グローバル EAPoUDP 設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature eou** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou all
```

次に、802.1X クライアントレス認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou authentication clientless
```

次に、802.1X EAP 認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou authentication eap
```

次に、802.1X スタティック認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou interface ethernet 2/1
```

次に、イーサネット インターフェイスの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou ip-address 10.10.10.1
```

次に、MAC アドレスの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou mac-address 0019.076c.dac4
```

次に、MAC アドレスの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou posturetoken healthy
```

関連コマンド**コマンド 説明**

feature eou 802.1X 機能をイネーブルにします。

show hardware rate-limit

レート制限の設定と統計情報を表示するには、**show hardware rate-limit** コマンドを使用します。

```
show rate-limit [access-list-log | copy | layer-2 storm-control | layer-3 {control | glean | mtu | multicast
                {directly-connected | local-groups | rpf-leak} | ttl} | receive]
```

シンタックスの説明	
access-list-log	(任意) アクセス リスト ロギング パケットのレート制限統計情報を表示します。
copy	(任意) コピー パケットのレート制限統計情報を表示します。
layer-2 storm-control	(任意) レイヤ 2 ストーム制御パケットのレート制限統計情報を表示します。
layer-3	レイヤ 3 パケットのレート制限を指定します。
control	(任意) レイヤ 3 制御パケットのレート制限統計情報を表示します。
glean	(任意) レイヤ 3 グリーニングパケットのレート制限統計情報を表示します。
mtu	(任意) レイヤ 3 最大伝送ユニット (Maximum Transmission Unit; MTU) パケットのレート制限統計情報を表示します。
multicast	レイヤ 3 マルチキャストのレート制限を指定します。
directly-connected	(任意) レイヤ 3 直接接続マルチキャストパケットのレート制限統計情報を表示します。
local-groups	(任意) レイヤ 3 ローカル グループ マルチキャスト パケットのレート制限統計情報を表示します。
rpf-leak	(任意) レイヤ 3 Reverse Path Forwarding (RPF) リーク マルチキャストパケットのレート制限統計情報を表示します。
ttl	(任意) レイヤ 3 Time-to-Live (TTL; 存続可能時間) パケットのレート制限統計情報を表示します。
receive	(任意) 受信パケットのレート制限統計情報を表示します。

デフォルト 全てのレート制限統計情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのレート制限設定および統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware rate-limit

Units for Config: packets per second
Allowed & Total: aggregated since last clear counters

Rate Limiter Class          Config          Allowed          Total
-----+-----+-----+-----
layer-3 mtu                 500             0                 0
layer-3 ttl                 500             0                 0
layer-3 control             10000           0                 0
layer-3 glean               100             0                 0
layer-3 multicast directly-connected 10000           0                 0
layer-3 multicast local-groups 10000           0                 0
layer-3 multicast rpf-leak  500             0                 0
layer-2 storm-control      Disabled
access-list-log            100             0                 0
copy                       30000           0                 0
receive                    30000           0                 0
```

次に、アクセス リスト ロギング パケットのレート制限設定および統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware rate-limit access-list-log

Units for Config: packets per second
Allowed & Total: aggregated since last clear counters

Rate Limiter Class          Config          Allowed          Total
-----+-----+-----+-----
access-list-log            100             0                 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
platform rate-limit	レート制限を設定します。
show hardware rate-limit	レート制限情報を表示します。

show identity policy

アイデンティティ ポリシーを表示するには、**show identity policy** コマンドを使用します。

```
show identity policy [policy-name]
```

シンタックスの説明

policy-name (任意) ポリシーの名前。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

すべてのアイデンティティ ポリシーの情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
VDC user

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、アイデンティティ ポリシーのすべての情報を表示する例を示します。

```
switch# show identity policy
```

次に、特定のアイデンティティ ポリシーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show identity policy AdminPolicy
```

関連コマンド

コマンド	説明
identity policy	アイデンティティ ポリシーを設定します。

show identity profile

アイデンティティ ポリシーを表示するには、**show identity profile** コマンドを使用します。

show identity profile [eapoudp]

シンタックスの説明	eapoudp (任意) Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) アイデンティティ プロファイルを表示します。
------------------	---

デフォルト	すべてのアイデンティティ プロファイルの情報を表示します。
--------------	-------------------------------

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin VDC user
----------------------	--

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
-------------------	-------------------------

例	次に、アイデンティティ プロファイルを表示する例を示します。
----------	--------------------------------

```
switch# show identity profile
```

次に、EAPoUDP アイデンティティ プロファイル設定を表示する例を示します。

```
switch# show identity profile eapoudp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	identity profile eapoudp	EAPoUDP アイデンティティ プロファイルを設定します。

show ip access-lists

すべての IPv4 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) または特定の IPv4 ACL を表示するには、**show ip access-lists** コマンドを使用します。

```
show ip access-lists [access-list-name] [expanded | summary]
```

シンタックスの説明	
<i>access-list-name</i>	(任意) IPv4 ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
expanded	(任意) オブジェクト グループの名前だけでなく、IPv4 アドレス グループまたはポート グループの内容を表示することを指定します。
summary	(任意) コマンドが ACL 設定ではなく、ACL に関する情報を表示することを指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *access-list-name* 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての IPv4 ACL を表示します。

expanded キーワードを使用する場合を除いて、IPv4 アドレス オブジェクト グループおよび IP ポート オブジェクト グループは名前だけで表示されます。

expanded キーワードを使用すると、オブジェクト グループの名前だけでなく、ACL で使用されているオブジェクト グループの詳細を表示できます。オブジェクト グループに関する詳細については、**object-group ip address** および **object-group ip port** コマンドを参照してください。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなります。
- ACL が適用されているインターフェイス
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス

show ip access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている

- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている
- このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、単一の IPv4 ACL を持つデバイスですべての IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists

IP access list ipv4-open-filter
  10 permit ip any any
```

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、MainLab オブジェクト グループを除くエントリのエントリ単位の統計情報を含めて、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp addrgroup MainLab any eq telnet
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。**expanded** キーワードを使用すると、エントリ単位の統計情報を含めて、前の例のオブジェクト グループの内容が表示されます。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web expanded

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp 10.52.34.4/32 any eq telnet [match=5032]
  1005 permit tcp 10.52.34.27/32 any eq telnet [match=433]
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show ip access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web summary
IPV4 ACL ipv4-RandD-outbound-web

  Statistics enabled
  Total ACEs Configured: 4
  Configured on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
  Active on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip access-list	IPv4 ACL を設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。
statistics per-entry	ACL 内の各エントリで許可または拒否されたパケットの統計情報の記録を開始します。

show ip arp inspection

Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) 設定ステータスを表示するには、**show ip arp inspection** コマンドを使用します。

show ip arp inspection

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、DAI 設定のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection

Source Mac Validation      : Enabled
Destination Mac Validation : Enabled
IP Address Validation      : Enabled

Vlan : 1
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Active

ARP Req Forwarded = 0
ARP Res Forwarded = 0
ARP Req Dropped   = 0
ARP Res Dropped   = 0
DHCP Drops        = 0
DHCP Permits      = 0
SMAC Fails-ARP Req = 0
SMAC Fails-ARP Res = 0
DMAC Fails-ARP Res = 0
IP Fails-ARP Req   = 0
IP Fails-ARP Res   = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>ip arp inspection vlan</code>	VLAN の指定されたリストの DAI をイネーブルにします。
<code>show ip arp inspection interface</code>	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケットレートを表示します。
<code>show ip arp inspection log</code>	DAI ログ設定を表示します。
<code>show ip arp inspection statistics</code>	DAI 統計情報を表示します。
<code>show ip arp inspection vlan</code>	VLAN の指定されたリストの DAI ステータスを表示します。
<code>show running-config dhcp</code>	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection interface

指定されたインターフェイスの信頼状態を表示するには、**show ip arp inspection interface** コマンドを使用します。

```
show ip arp inspection interface {ethernet slot/port | port-channel channel-number}
```

シンタックスの説明	
ethernet slot/port	(任意) 出力はイーサネットインターフェイス用であることを指定します。
port-channel	(任意) 出力はポートチャネルインターフェイス用であることを指定します。
channel-number	有効なポートチャネル番号は、1 ~ 4096 です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、信頼できるインターフェイスの信頼状態を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection interface ethernet 2/1

Interface          Trust State
-----
Ethernet2/46      Trusted
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インспекション) をイネーブルにします。
	show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
	show ip arp inspection log	DAI ログ設定を表示します。
	show ip arp inspection statistics	DAI 統計情報を表示します。
	show ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI ステータスを表示します。
	show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection log

Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) ログ設定を表示するには、**show ip arp inspection log** コマンドを使用します。

show ip arp inspection log

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、DAI ログ設定を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection log

Syslog Buffer Size : 32
Syslog Rate       : 5 entries per 1 seconds
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip arp inspection log	DAI ログリング バッファを消去します。
	ip arp inspection log-buffer	DAI ログリング バッファ サイズを設定します。
	show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
	show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケット レートを表示します。
	show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection statistics

Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) 統計情報を表示するには、**show ip arp inspection statistics** コマンドを使用します。1 つの VLAN または VLAN の範囲を指定できます。

```
show ip arp inspection statistics [vlan vlan-list]
```

シンタックスの説明

vlan *vlan-list* (任意) DAI 統計情報を表示する VLAN のリストを指定します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、VLAN 1 の DAI 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection statistics vlan 1

Vlan : 1
-----
ARP Req Forwarded = 0
ARP Res Forwarded = 0
ARP Req Dropped   = 0
ARP Res Dropped   = 0
DHCP Drops        = 0
DHCP Permits      = 0
SMAC Fails-ARP Req = 0
SMAC Fails-ARP Res = 0
DMAC Fails-ARP Res = 0
IP Fails-ARP Req   = 0
IP Fails-ARP Res   = 0
switch#
```


関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ip arp inspection statistics vlan</code>	指定された VLAN の DAI 統計情報を消去します。
<code>show ip arp inspection</code>	DAI 設定ステータスを表示します。
<code>show ip arp inspection interface</code>	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケットレートを表示します。
<code>show ip arp inspection log</code>	DAI ログ設定を表示します。
<code>show running-config dhcp</code>	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection vlan

指定された VLAN のリストの Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) ステータスを表示するには、**show ip arp inspection vlan** コマンドを使用します。

show ip arp inspection vlan *vlan-list*

シンタックスの説明	<i>vlan-list</i> このコマンドが DAI ステータスを表示する VLAN。 <i>vlan-list</i> 引数を使用すると、単一の VLAN ID、VLAN ID の範囲、またはカンマで区別された ID および範囲を指定できます（「例」を参照）。有効な VLAN ID は、1 ～ 4096 です。
------------------	---

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

例 次に、VLAN 1 および VLAN 13 の DAI ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection vlan 1,13

Source Mac Validation      : Enabled
Destination Mac Validation : Enabled
IP Address Validation      : Enabled

Vlan : 1
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Active

Vlan : 13
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Inactive
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip arp inspection statistics vlan	指定された VLAN の DAI 統計情報を消去します。
	ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI をイネーブルにします。
	show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
	show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケットレートを表示します。
	show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip device tracking

IP デバイス トラッキング情報を表示するには、**show ip device tracking** コマンドを使用します。

```
show ip device tracking {all | interface ethernet slot/port | ip-address ipv4-address | mac-address mac-address}
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	all	すべての IP デバイス トラッキング情報を表示します。
	interface ethernet slot/port	インターフェイスの IP トラッキング デバイス情報を表示します。
	ip-address ipv4-address	A.B.C.D フォーマットの IPv4 アドレスの IP トラッキング デバイス情報を表示します。
	mac-address mac-address	XXXX.XXXX.XXXX フォーマットの MAC アドレスの IP トラッキング情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
VDC user

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、すべての IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking all
```

次に、インターフェイスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking ethernet 1/2
```

次に、IP アドレスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking ip-address 10.10.1.1
```

次に、MAC アドレスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking mac-address 0018.bad8.3fdb
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip device tracking	IP デバイス トラッキングを設定します。

show ip dhcp snooping

DHCP スヌーピングの一般ステータス情報を表示するには、**show ip dhcp snooping** コマンドを使用します。

show ip dhcp snooping

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、DHCP スヌーピングに関する一般ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping
DHCP snooping service is enabled
Switch DHCP snooping is enabled
DHCP snooping is configured on the following VLANs:
1,13
DHCP snooping is operational on the following VLANs:
1
Insertion of Option 82 is disabled
Verification of MAC address is enabled
DHCP snooping trust is configured on the following interfaces:
Interface           Trusted
-----
Ethernet2/3         Yes

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
	ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
	show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。
	show ip dhcp snooping statistics	DHCP スヌーピング統計情報を表示します。
	show running-config dhcp	DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip dhcp snooping binding

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの IP-to-MAC アドレス バインディングを表示するには、**show ip dhcp snooping binding** コマンドを使用します。スタティック IP ソース エントリが含まれます。スタティック エントリは、Type カラムの [static] 用語に表示されます。

```
show ip dhcp snooping binding [IP-address] [MAC-address] [interface ethernet slot/port]
                               [vlan vlan-id]
```

```
show ip dhcp snooping binding [dynamic]
```

```
show ip dhcp snooping binding [static]
```

シンタックスの説明

<i>IP-address</i>	(任意) 表示されるバインディングに含める IPv4 アドレス。有効なエントリは、ドット付き 10 進表記です。
<i>MAC-address</i>	(任意) 表示されるバインディングに含める MAC アドレス。有効なエントリは、ドット付き 16 進表記です。
interface ethernet slot/port	(任意) 表示されるバインディングに関連付けるイーサネットインターフェイスを指定します。
vlan vlan-id	(任意) 表示されるバインディングに関連付ける VLAN ID を指定します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。
dynamic	(任意) すべてのダイナミック IP-MAC アドレス バインディングに出力を制限します。
static	(任意) すべてのスタティック IP-MAC アドレス バインディングに出力を制限します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

```
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator
```

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのバインディングを表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping binding
MacAddress      IpAddress      LeaseSec      Type          VLAN  Interface
-----
0f:00:60:b3:23:33  10.3.2.2      infinite     static        13   Ethernet2/46
0f:00:60:b3:23:35  10.2.2.2      infinite     static        100  Ethernet2/10
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip dhcp snooping binding	DHCP スヌーピング バインディング データベースを消去します。
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
service dhcp	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般情報を表示します。
show ip dhcp snooping statistics	DHCP スヌーピング統計情報を表示します。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip dhcp snooping statistics

DHCP スヌーピング統計情報を表示するには、**show ip dhcp snooping statistics** コマンドを使用します。

show ip dhcp snooping statistics

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、DHCP スヌーピング統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping statistics
Packets processed 0
Packets forwarded 0
Total packets dropped 0
Packets dropped from untrusted ports 0
Packets dropped due to MAC address check failure 0
Packets dropped due to Option 82 insertion failure 0
Packets dropped due to o/p intf unknown 0
Packets dropped which were unknown 0
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
	ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
	service dhcp	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
	show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般情報を表示します。
	show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。
	show running-config dhcp	DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip verify source

IP-to-MAC アドレス バインディングを表示するには、**show ip verify source** コマンドを使用します。

```
show ip verify source [interface {ethernet slot/port | port-channel channel-number}]
```

シンタックスの説明		
interface	(任意) 出力が特定のインターフェイスの IP-to-MAC アドレス バインディングに制限されていることを指定します。	
ethernet slot/port	(任意) 出力が所定のイーサネット インターフェイスのバインディングに制限されていることを指定します。	
port-channel channel-number	(任意) 出力が所定のポートチャネル インターフェイスのバインディングに制限されていることを指定します。有効なポートチャネル番号は、1 ~ 4096 です。	

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、IP-to-MAC アドレス バインディングを表示する例を示します。

```
switch# show ip verify source
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip source binding	指定したイーサネット インターフェイスのスタティック IP ソース エントリを作成します。
	ip verify source dhcp-snooping-vlan	インターフェイスの IP ソース ガードをイネーブルにします。
	show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show key chain

特定のキーチェーンの設定を表示するには、**show keychain** コマンドを使用します。

```
show key chain keychain-name [mode decrypt]
```

シンタックスの説明	
<i>keychain-name</i>	設定するキーチェーンの名前。最大 63 文字の英数字を指定できます。
mode decrypt	(任意) クリアテキストでキー テキスト設定を表示します。このオプションは、 network-admin または vdc-admin ユーザ ロールが割り当てられたユーザ アカウントでデバイスにアクセスするときのみ使用できます。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
 network-admin
 network-operator
 vdc-admin
 vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、特定の受け入れライフタイムおよび送信ライフタイムを持つ 1 つの鍵（鍵 13）を含むキーチェーン **glbp-key** のキーチェーン設定を表示する例を示します。

```
switch# show key chain
Key-Chain glbp-keys
  Key 13 -- text 7 071a33595c1d0c1702170203163e3e21213c20361a021f11
    accept lifetime UTC (00:00:00 Jun 13 2008) - (23:59:59 Sep 12 2008)
    send lifetime UTC (00:00:00 Jun 13 2008) - (23:59:59 Aug 12 2008)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	accept-lifetime	鍵の受け入れライフタイムを設定します。
	key	鍵を設定します。
	key chain	キーチェーンを設定します。
	key-string	鍵のストリングを設定します。
	send-lifetime	鍵の送信ライフタイムを設定します。

show mac access-lists

すべての MAC Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) または特定の MAC ACL を表示するには、**show mac access-lists** コマンドを使用します。

```
show mac access-lists [access-list-name] [summary]
```

シンタックスの説明	access-list-name (任意) MAC ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
	summary (任意) コマンドが ACL 設定ではなく、ACL に関する情報を表示することを指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン *access-list-name* 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての MAC ACL を表示します。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなります。
- ACL が適用されているインターフェイス
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス

show mac access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、**show mac access-lists** コマンドを使用して、単一の MAC ACL を持つデバイスですべての MAC ACL を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists

MAC access list mac-filter
    10 permit any any ip
```

次に、**show mac access-lists** コマンドを使用して、エントリ単位の統計情報を含めて、**mac-lab-filter** という名前の MAC ACL を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists mac-lab-filter

MAC access list mac-lab-filter
    statistics per-entry
    10 permit 0600.ea5f.22ff 0000.0000.0000 any [match=820421]
    20 permit 0600.050b.3ee3 0000.0000.0000 any [match=732]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show mac access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの **mac-lab-filter** という名前の MAC ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists mac-lab-filter summary

MAC ACL mac-lab-filter

    Statistics enabled
    Total ACEs Configured: 2
    Configured on interfaces:
        Ethernet2/3 - ingress (Port ACL)
    Active on interfaces:
        Ethernet2/3 - ingress (Port ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac access-list	MAC ACL を設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。

show password strength-check

パスワードの強度の確認ステータスを表示するには、**show password strength-check** コマンドを使用します。

show password strength-check

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

リリース	変更内容
4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、パスワードの強度の確認ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show password strength-check
Password strength check enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	password strength-check	パスワードの強度の確認をイネーブルにします。
	show running-config security	実行コンフィギュレーションのセキュリティ機能設定を表示します。

show policy-map type control-plane

コントロールプレーンポリシーマップ情報を表示するには、**show policy-map type control-plane** コマンドを使用します。

show policy-map type control-plane [**expand**] [**name** *policy-map-name*]

シンタックスの説明		
expand	(任意) 拡張されたコントロールプレーンポリシーマップ情報を表示します。	
name <i>policy-map-name</i>	(任意) コントロールプレーンポリシーマップの名前を指定します。名前では、大文字と小文字が区別されます。	

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、コントロールプレーンポリシーマップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show policy-map type control-plane

policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
```

show radius-server

RADIUS サーバ情報を表示するには、**show radius-server** コマンドを表示します。

```
show radius-server [hostname | ipv4-address | ipv6-address]
[directed-request | groups | sorted | statistics]
```

シンタックスの説明	
<i>hostname</i>	(任意) RADIUS サーバの Domain Name Server (DNS) 名。名前では、大文字と小文字が区別されます。
<i>ipv4-address</i>	(任意) <i>A.B.C.D</i> フォーマットの RADIUS サーバの IPv4 アドレス
<i>ipv6-address</i>	(任意) <i>X:X:X:X</i> フォーマットの RADIUS サーバの IPv6 アドレス
directed-request	(任意) 指定要求設定を表示します。
groups	(任意) 設定された RADIUS サーバグループに関する情報を表示します。
sorted	(任意) RADIUS サーバに関する名前でソートされた情報を表示します。
statistics	(任意) RADIUS サーバの RADIUS 統計情報を表示します。

デフォルト グローバル RADIUS サーバ設定を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン RADIUS 事前共有鍵は、**show radius-server** コマンド出力には表示されません。RADIUS 事前共有鍵を表示するには、**show running-config radius** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、すべての RADIUS サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server
Global RADIUS shared secret:*****
retransmission count:1
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following RADIUS servers are configured:
 10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
 10.10.2.2:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
```

次に、指定された RADIUS サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server 10.10.1.1
10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    idle time:0
    test user:test
    test password:*****
```

次に、RADIUS 指定要求設定を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server directed-request
enabled
```

次に、RADIUS サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server groups
total number of groups:2

following RADIUS server groups are configured:
  group radius:
    server: all configured radius servers
  group RadServer:
    deadtime is 0
    vrf is management
```

次に、指定された RADIUS サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server groups RadServer
group RadServer:
    deadtime is 0
    vrf is management
```

次に、すべての RADIUS サーバのソートされた情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server sorted
Global RADIUS shared secret:*****
retransmission count:1
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following RADIUS servers are configured:
10.10.0.0:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
```

次に、指定された RADIUS サーバの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server statistics 10.10.1.1
Server is not monitored

Authentication Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Accounting Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config radius</code>	実行コンフィギュレーションファイルの RADIUS 情報を表示します。

show role

ユーザ ロール設定を表示するには、**show role** コマンドを使用します。

```
show role [name role-name]
```

シンタックスの説明

name role-name (任意) 特定のユーザ ロール名の情報を表示します。ロール名では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

すべてのユーザ ロールの情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

```
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator
```

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、特定のユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role name MyRole

role: MyRole
description: new role
vlan policy: deny
permitted vlan
1-10
interface policy: deny
permitted interface
Ethernet2/1-8
vrf policy: permit (default)
```

次に、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) のすべてのユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role

role: network-admin
description: Predefined network admin role has access to all commands
on the switch
-----
Rule      Perm   Type      Scope      Entity
-----
1         permit read-write
```

```

role: network-operator
description: Predefined network operator role has access to all read
commands on the switch
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read
-----

role: vdc-admin
description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read-write
-----

role: vdc-operator
description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read
-----

role: MyRole
description: new role
vlan policy: deny
permitted vlan
1-10
interface policy: deny
permitted interface
Ethernet2/1-8
vrf policy: permit (default)

```

次に、デフォルト以外の VDC のすべてのユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```

switch-MyVDC# show role

role: vdc-admin
description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read-write
-----

role: vdc-operator
description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read
-----

```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	ユーザ ロールを設定します。

show role feature

ユーザ ロール機能を表示するには、**show role feature** コマンドを使用します。

```
show role feature [detail | name feature-name]
```

シンタックスの説明

detail	(任意) すべての機能の詳細情報を表示します。
name <i>feature-name</i>	(任意) 特定の機能の詳細情報を表示します。機能名では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

ユーザ ロール機能名のリストを表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、ユーザ ロール機能を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature
feature: aaa
feature: access-list
feature: arp
feature: callhome
feature: cdp
feature: crypto
feature: gold
feature: install
feature: l3vm
feature: license
feature: ping
feature: platform
feature: qosmgr
feature: radius
feature: scheduler
feature: snmp
feature: syslog
(テキスト出力は省略)
```

次に、すべてのユーザ ロール機能の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature detail
feature: aaa
  show aaa *
  config t ; aaa *
  aaa *
  clear aaa *
  debug aaa *
  show accounting *
  config t ; accounting *
  accounting *
  clear accounting *
  debug accounting *
feature: access-list
  show ip access-list *
  show ipv6 access-list *
  show mac access-list *
  show arp access-list *
  show vlan access-map *
  config t ; ip access-list *
  config t ; ipv6 access-list *
  config t ; mac access-list *
  config t ; arp access-list *
  config t ; vlan access-map *
  clear ip access-list *
  clear ipv6 access-list *
  clear mac access-list *
  clear arp access-list *
  clear vlan access-map *
  debug aclmgr *
feature: arp
  show arp *
  show ip arp *
  config t ; ip arp *
  clear ip arp *
  debug ip arp *
  debug-filter ip arp *
(テキスト出力は省略)
```

次に、特定のユーザ ロール機能の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature name dot1x
feature: dot1x
  show dot1x *
  config t ; dot1x *
  dot1x *
  clear dot1x *
  debug dot1x *
```

関連コマンド

コマンド	説明
role feature-group	ユーザ ロールの機能グループを設定します。
rule	ユーザ ロールのルールを設定します。

show role feature-group

ユーザ ロール機能グループを表示するには、**show role feature-group** コマンドを使用します。

```
show role feature-group [detail | name group-name]
```

シンタックスの説明

detail	(任意) すべての機能グループの詳細情報を表示します。
name group-name	(任意) 特定の機能グループの詳細情報を表示します。グループ名では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

ユーザ ロール機能グループのリストを表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、ユーザ ロール機能グループを表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group

feature group: L3
feature: router-bgp
feature: router-eigrp
feature: router-isis
feature: router-ospf
feature: router-rip

feature group: SecGroup
feature: aaa
feature: radius
feature: tacacs
```

次に、すべてのユーザ ロール機能グループに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group detail
```

```
feature group: L3
feature: router-bgp
  show bgp *
  config t ; bgp *
  bgp *
  clear bgp *
  debug bgp *
  show ip bgp *
  show ip mbgp *
  show ipv6 bgp *
  show ipv6 mbgp *
  clear ip bgp *
  clear ip mbgp *
  debug-filter ip *
  debug-filter ip bgp *
  config t ; router bgp *
feature: router-eigrp
  show eigrp *
  config t ; eigrp *
  eigrp *
  clear eigrp *
  debug eigrp *
  show ip eigrp *
  clear ip eigrp *
  debug ip eigrp *
  config t ; router eigrp *
feature: router-isis
  show isis *
  config t ; isis *
  isis *
  clear isis *
  debug isis *
  debug-filter isis *
  config t ; router isis *
feature: router-ospf
  show ospf *
  config t ; ospf *
  ospf *
  clear ospf *
  debug ospf *
  show ip ospf *
  show ospfv3 *
  show ipv6 ospfv3 *
  debug-filter ip ospf *
  debug-filter ospfv3 *
  debug ip ospf *
  debug ospfv3 *
  clear ip ospf *
  clear ip ospfv3 *
  config t ; router ospf *
  config t ; router ospfv3 *
feature: router-rip
  show rip *
  config t ; rip *
  rip *
  clear rip *
  debug rip *
  show ip rip *
  show ipv6 rip *
  overload rip *
  debug-filter rip *
  clear ip rip *
  clear ipv6 rip *
  config t ; router rip *
```

次に、特定のユーザ ロール機能グループの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group name SecGroup

feature group: SecGroup
feature: aaa
feature: radius
feature: tacacs
```

関連コマンド

コマンド	説明
role feature-group	ユーザ ロールの機能グループを設定します。
rule	ユーザ ロールのルールを設定します。

show running-config aaa

実行コンフィギュレーションの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントリング) 設定情報を表示するには、**show running-config aaa** コマンドを使用します。

```
show running-config aaa [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	次に、実行コンフィギュレーションの設定済み AAA 情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show running-config aaa version 4.0(1)</pre>				

show running-config copp

実行コンフィギュレーションのコントロールプレーン ポリシング設定情報を表示するには、**show running-config copp** コマンドを使用します。

```
show running-config copp [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。 このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				

例 次に、実行コンフィギュレーションの設定済みコントロールプレーンポリシー情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config copp
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
```

次に、実行コンフィギュレーションの設定済みおよびデフォルトのコントロールプレーンポリシー情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config copp all
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
```

show running-config cts

実行コンフィギュレーションの Cisco TrustSec 設定を表示するには、**show running-config cts** コマンドを使用します。

show running-config cts

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、実行コンフィギュレーションの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show running-config cts
version 4.0(1)
feature cts
cts role-based enforcement
cts role-based sgt-map 10.10.1.1 10
cts role-based access-list MySGACL
    permit icmp
cts role-based sgt 65535 dgt 65535 access-list MySGACL
cts sxp enable
cts sxp connection peer 10.10.3.3 source 10.10.2.2 password default mode listener
vlan 1
    cts role-based enforcement
vrf context MyVRF
    cts role-based enforcement
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show running-config dhcp

実行コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示するには、**show running-config dhcp** コマンドを使用します。

show running-config dhcp [all]

シンタックスの説明	all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
-----------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
----------	-------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin network-operator vdc-operator
---------------	--

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドを使用するには、 feature dhcp コマンドを使用して DHCP スヌーピング機能をイネーブルにする必要があります。
------------	---

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例	次に、DHCP スヌーピング情報を表示する例を示します。
---	------------------------------

```
switch# show running-config dhcp
version 4.0(1)
feature dhcp

interface Ethernet2/46
 ip verify source dhcp-snooping-vlan
 ip arp inspection trust
 ip dhcp snooping
 ip arp inspection validate src-mac dst-mac ip
 ip source binding 10.3.2.2 0f00.60b3.2333 vlan 13 interface Ethernet2/46
 ip source binding 10.2.2.2 0060.3454.4555 vlan 100 interface Ethernet2/10
 ip dhcp snooping vlan 1
 ip arp inspection vlan 1
 ip dhcp snooping vlan 13
 ip arp inspection vlan 13

switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
	ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
	service dhcp	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
	show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般情報を表示します。
	show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。

show running-config dot1x

実行コンフィギュレーションの 802.1X 設定情報を表示するには、**show running-config dot1x** コマンドを使用します。

```
show running-config dot1x [all]
```

シンタックスの説明	all	(任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
-----------	-----	-----------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
----------	-------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
---------------	--

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、実行コンフィギュレーションの設定済み 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config dot1x
version 4.0(1)
```

show running-config eou

実行コンフィギュレーションの Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) 設定情報を表示するには、**show running-config eou** コマンドを使用します。

```
show running-config eou [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	<p>このコマンドを使用する前に、feature eou コマンドを使用して EAPoUDP 機能をイネーブルにする必要があります。</p> <p>このコマンドには、ライセンスは必要ありません。</p>				
例	<p>次に、実行コンフィギュレーションの設定済み EAPoUDP 情報を表示する例を示します。</p> <pre>switch# show running-config eou version 4.0(1)</pre>				

show running-config port-security

実行コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示するには、**show running-config port-security** コマンドを使用します。

```
show running-config port-security [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) デフォルトのポートセキュリティ設定情報を表示します。						
デフォルト	なし						
コマンド モード	任意のコマンド モード						
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator						
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(3)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(3)	このコマンドが導入されました。		
リリース	変更内容						
4.0(3)	このコマンドが導入されました。						
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。						
例	次に、実行コンフィギュレーションのポートセキュリティの情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show running-port-security version 4.0(3) feature port-security logging level port-security 5 interface Ethernet2/3 switchport port-security</pre>						
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show startup-config</td><td>スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。</td></tr><tr><td>port-security</td><td></td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。	port-security	
コマンド	説明						
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。						
port-security							

show running-config radius

実行コンフィギュレーションの RADIUS サーバ情報を表示するには、**show running-config radius** コマンドを使用します。

```
show running-config radius [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) デフォルトの RADIUS 設定情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	次に、実行コンフィギュレーションの RADIUS の情報を表示する例を示します。 switch# show running-config radius				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show radius-server</td> <td>RADIUS 情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show radius-server	RADIUS 情報を表示します。
コマンド	説明				
show radius-server	RADIUS 情報を表示します。				

show running-config security

実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ情報を表示するには、**show running-config security** コマンドを使用します。

show running-config security [all]

シンタックスの説明	all (任意) デフォルトのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ設定情報を表示します。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
-----------------------	--

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
-------------------	-------------------------

例	次に、実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ情報を表示する例を示します。
----------	---

```
switch# show running-config security
version 4.0(1)
username admin password 5 $1$7Jwq/LDM$XF0M/UWeT43DmtjZy8VP91 role network-admin
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$0Odx7oJS1BCFpNRmQK4na. role
network-operator
username user1 password 5 $1$qEc1Q5Rx$CAX9fXiAoFPYSvbVzpazj/ role network-operator
telnet server enable
ssh key rsa 768 force
```

show running-config tacacs+

実行コンフィギュレーションの TACACS+ サーバ情報を表示するには、**show running-config tacacs+** コマンドを使用します。

show running-config tacacs+ [all]

シンタックスの説明	all (任意) デフォルトの TACACS+ 設定情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	TACACS+ 情報を表示する前に、 feature tacacs+ コマンドを使用する必要があります。 このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	次に、実行コンフィギュレーションの TACACS+ 情報を表示する例を示します。 switch# show running-config tacacs+				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show tacacs-server</td> <td>TACACS+ 情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show tacacs-server	TACACS+ 情報を表示します。
コマンド	説明				
show tacacs-server	TACACS+ 情報を表示します。				

show ssh key

Virtual Device Context (VDC) の Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバ鍵を表示するには、**show ssh key** コマンドを使用します。

show ssh key

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、**ssh server enable** コマンドを使用して SSH がイネーブルのときにのみ使用できます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、SSH サーバ鍵を表示する例を示します。

```
switch# show ssh key
*****
rsa Keys generated:Mon Mar 17 15:02:44 2008

ssh-rsa
AAAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAGEAqyiGkvwk0xyAXU1/OmeIrSq0QIYYD1o05F2lwdjfkVQfOq8S10q6LW4Uv
5+0m1vvUjoi002SsdG7tCA6VpGtD/cuPTdQSMpdu6MF9H2TYTuC5TyFGYiLf/0vYTeHe+9

bitcount:768
fingerprint:
9b:d9:09:97:f6:40:76:89:05:15:42:6b:12:48:0f:d6
*****
could not retrieve dsa key information
*****
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ssh server key	SSH サーバ鍵を設定します。

show ssh server

Virtual Device Context (VDC) の Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバステータスを表示するには、**show ssh server** コマンドを使用します。

show ssh server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、SSH サーバステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ssh server
ssh is enabled
version 2 enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ssh server enable	SSH サーバをイネーブルにします。

show startup-config aaa

スタートアップ コンフィギュレーションの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントिंग) 設定情報を表示するには、**show startup-config aaa** コマンドを使用します。

show startup-config aaa

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションの AAA 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config aaa
version 4.0(1)
```

show startup-config copp

スタートアップ コンフィギュレーションのコントロール プレーン ポリシング設定情報を表示するには、**show startup-config copp** コマンドを使用します。

show startup-config copp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションのコントロールプレーン ポリシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config copp
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any MyClassMap
  match redirect dhcp-snoop
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
policy-map type control-plane MyPolicyMap
  class MyClassMap
    police cir 0 bps bc 0 bytes conform drop violate drop
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit
  exceed transmit violate drop
policy-map type control-plane x
  class class-default
    police cir 0 bps bc 0 bytes conform drop violate drop
```

show startup-config dhcp

スタートアップ コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示するには、**show startup-config dhcp** コマンドを使用します。

```
show startup-config dhcp [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。						
デフォルト	なし						
コマンド モード	任意のコマンド モード						
サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin network-operator vdc-operator						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。		
リリース	変更内容						
4.0(1)	このコマンドが導入されました。						
使用上のガイドライン	<p>このコマンドを使用するには、feature dhcp コマンドを使用して DHCP スヌーピング機能をイネーブルにする必要があります。</p> <p>このコマンドには、ライセンスは必要ありません。</p>						
例	<p>次に、スタートアップ コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示する例を示します。</p> <pre>switch# show startup-config dhcp version 4.0(1) feature dhcp interface Ethernet2/46 ip verify source dhcp-snooping-vlan ip arp inspection trust ip dhcp snooping ip arp inspection validate src-mac dst-mac ip ip source binding 10.3.2.2 0f00.60b3.2333 vlan 13 interface Ethernet2/46 ip source binding 10.2.2.2 0060.3454.4555 vlan 100 interface Ethernet2/10 ip dhcp snooping vlan 1 ip arp inspection vlan 1 ip dhcp snooping vlan 13 ip arp inspection vlan 13 switch#</pre>						
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>feature dhcp</td> <td>デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。</td> </tr> <tr> <td>show running-config dhcp</td> <td>実行コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。	show running-config dhcp	実行コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示します。
コマンド	説明						
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。						
show running-config dhcp	実行コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示します。						

show startup-config dot1x

スタートアップ コンフィギュレーションの 802.1X 設定情報を表示するには、**show startup-config dot1x** コマンドを使用します。

```
show startup-config dot1x
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config dot1x
version 4.0(1)
```

show startup-config eou

スタートアップ コンフィギュレーションの Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) 設定情報を表示するには、**show startup-config eou** コマンドを使用します。

show startup-config eou

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、**feature eou** コマンドを使用して EAPoUDP 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションの EAPoUDP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config eou
version 4.0(1)
```

show startup-config port-security

スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示するには、**show startup-config port-security** コマンドを使用します。

```
show startup-config port-security [all]
```

シンタックスの説明	all (任意) デフォルトのポートセキュリティ設定情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(3)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(3)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(3)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	<p>次に、スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティの情報を表示する例を示します。</p> <pre>switch# show startup-port-security version 4.0(3) feature port-security logging level port-security 5 interface Ethernet2/3 switchport port-security</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show running-config port-security</td> <td>実行コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show running-config port-security	実行コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。
コマンド	説明				
show running-config port-security	実行コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。				

show startup-config radius

スタートアップ コンフィギュレーションの RADIUS 設定情報を表示するには、**show startup-config radius** コマンドを使用します。

show startup-config radius

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションの RADIUS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config radius
version 4.0(1)
```

show startup-config security

スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント、Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバ、および Telnet サーバ設定情報を表示するには、**show startup-config security** コマンドを使用します。

show startup-config security

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config security
version 4.0(1)
username admin password 5 $1$7Jwq/LDM$XF0M/UWeT43DmtjZy8VP91 role network-admin
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role
network-operator
username user1 password 5 $1$qEclQ5Rx$CAX9fXiAoFPYSvbVzpzaj/ role network-operator
telnet server enable
ssh key rsa 768 force
```

show startup-config tacacs+

スタートアップ コンフィギュレーションの TACACS+ 設定情報を表示するには、**show startup-config tacacs+** コマンドを使用します。

```
show startup-config tacacs+
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

```
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator
```

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションの TACACS+ 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config tacacs+
version 4.0(1)
```

show tacacs-server

TACACS+ サーバ情報を表示するには、**show tacacs-server** コマンドを表示します。

```
show tacacs-server [hostname | ip4-address | ipv6-address]
                  [directed-request | groups | sorted | statistics]
```

シンタックスの説明	
<i>hostname</i>	(任意) TACACS+ サーバの Domain Name Server (DNS) 名。最大文字サイズは 256 です。
<i>ip4-address</i>	(任意) A.B.C.D フォーマットの TACACS+ サーバの IPv4 アドレス
<i>ipv6-address</i>	(任意) X:X:X::X フォーマットの TACACS+ サーバの IPv6 アドレス
directed-request	(任意) 指定要求設定を表示します。
groups	(任意) 設定された TACACS+ サーバグループに関する情報を表示します。
sorted	(任意) TACACS+ サーバに関する名前ですべてソートされた情報を表示します。
statistics	(任意) TACACS+ サーバの TACACS+ 統計情報を表示します。

デフォルト グローバル TACACS+ サーバ設定を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン TACACS+ 事前共有鍵は、**show tacacs-server** コマンド出力には表示されません。TACACS+ 事前共有鍵を表示するには、**show running-config tacacs+** コマンドを使用します。

TACACS+ 情報を表示する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、すべての TACACS+ サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server
Global TACACS+ shared secret:*****
timeout value:5
deadttime value:0
total number of servers:2

following TACACS+ servers are configured:
 10.10.2.2:
   available on port:49
 10.10.1.1:
   available on port:49
```

次に、指定された TACACS+ サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server 10.10.2.2
10.10.2.2:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    idle time:0
    test user:test
    test password:*****
```

次に、TACACS+ 指定要求設定を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server directed-request
enabled
```

次に、TACACS+ サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server groups
total number of groups:1

following TACACS+ server groups are configured:
  group TacServer:
    server 10.10.2.2 on port 49
    deadtime is 0
    vrf is vrf3
```

次に、指定された TACACS+ サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server groups TacServer
group TacServer:
  server 10.10.2.2 on port 49
  deadtime is 0
  vrf is vrf3
```

次に、すべての TACACS+ サーバのソートされた情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server sorted
Global TACACS+ shared secret:*****
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following TACACS+ servers are configured:
  10.10.1.1:
    available on port:49
  10.10.2.2:
    available on port:49
```


次に、指定された TACACS+ サーバの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server statistics 10.10.2.2
Server is not monitored

Authentication Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Authorization Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Accounting Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config tacacs+	実行コンフィギュレーション ファイルの TACACS+ 情報を表示します。

show telnet server

Virtual Device Context (VDC) の Telnet サーバ ステータスを表示するには、**show telnet server** コマンドを使用します。

show telnet server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、Telnet サーバ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show telnet server
telnet service enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	telnet server enable	telnet サーバをイネーブルにします。

show user-account

Virtual Device Context (VDC) のユーザ アカウントの情報を表示するには、**show user-account** コマンドを使用します。

show user-account

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、デフォルトの Virtual Device Context (VDC) のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:adminbackup
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
```

次に、デフォルト以外の VDC のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch-MyVDC# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:vdc-admin
```

関連コマンド	コマンド	説明
	telnet server enable	telnet サーバをイネーブルにします。

show users

Virtual Device Context (VDC) のユーザ セッション情報を表示するには、**show users** コマンドを使用します。

show users

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、デフォルトの VDC のユーザ セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     pts/1     Mar 17 15:18  .            5477 (172.28.254.254)
admin     pts/9     Mar 19 11:19  .            23101 (10.82.234.56)*
```

次に、デフォルト以外の VDC のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch-MyVDC# show users
admin     pts/10    Mar 19 12:54  .            30965 (10.82.234.56)*
```

関連コマンド	コマンド	説明
	username	ユーザ アカウントを設定します。

show vlan access-list

IPv4 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) の内容または特定の VLAN アクセス マップに関連付けられている MAC ACL を表示するには、**show vlan access-list** コマンドを使用します。

show vlan access-list *access-list-name*

シンタックスの説明

access-list-name VLAN アクセス マップの名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show vlan access-list** コマンドを使用して、**vacl-01** という名前の VLAN アクセス マップが使用されるように設定されている ACL の内容を表示する例を示します。

```
switch# show vlan access-list vacl-01

IP access list ipv4acl
  5 deny ip 10.1.1.1/32 any
 10 permit ip any any
```

関連コマンド

コマンド	説明
vlan access-map	VLAN アクセス マップを設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。
show vlan access-map	すべての VLAN アクセス マップまたは特定の VLAN アクセス マップを表示します。

show vlan access-map

すべての VLAN アクセス マップまたは 1 つの VLAN アクセス マップを表示するには、**show vlan access-map** コマンドを使用します。

show vlan access-map map-name

シンタクスの説明	<i>map-name</i> VLAN アクセス マップ。最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
-----------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
-----------------------	--

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<i>map-name</i> 引数を使用してアクセス マップを指定する場合を除いて、デバイスはすべての VLAN アクセス マップを表示します。
-------------------	---

表示される各 VLAN アクセス マップに対して、デバイスはアクセスマップ名、**match** コマンドで指定された ACL、および **action** コマンドで指定された処理を表示します。

VLAN アクセス マップが適用されている VLAN を確認するには、**show vlan filter** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例	次に、イーサネット 2/1 インターフェイスから動的に学習されたセキュア MAC アドレスを削除する例を示します。
----------	---

```
switch# show vlan access-map

Vlan access-map austin-vlan-map

      match ip: austin-corp-acl
      action: forward
```

関連コマンド	コマンド 説明
	action VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの処理を指定します。
	match VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの ACL を指定します。
	show vlan filter VLAN アクセス マップが適用されている方法に関する情報を表示します。
	vlan access-map VLAN アクセス マップを設定します。
	vlan filter 1 つまたは複数の VLAN に VLAN アクセス マップを適用します。

show vlan filter

コマンドによって影響される VLAN アクセスマップおよび VLAN ID を含めて、**show vlan filter** コマンドのインスタンスに関する情報を表示するには、**show vlan filter** コマンドを使用します。

```
show vlan filter [access-map map-name | vlan vlan-ID]
```

シンタックスの説明	
access-map map-name	(任意) 指定されたアクセス マップが適用されている VLAN に出力を制限します。
vlan vlan-ID	(任意) 指定された VLAN にのみ適用されているアクセス マップに出力を制限します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。

デフォルト *access-map* キーワードを使用してアクセス マップを指定する場合、または *vlan* キーワードを使用して VLAN ID を指定する場合を除いて、デバイスは VLAN に適用されている VLAN アクセスマップのすべてのインスタンスを表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、1 つの VLAN アクセス マップ (austin-vlan-map) だけが VLAN 20 ~ 35 および 42 ~ 80 に適用されているデバイスのすべての VLAN アクセス マップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show vlan filter

vlan map austin-vlan-map:
    Configured on VLANs:    20-35,42-80
```

関連コマンド	コマンド	説明
	action	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの処理を指定します。
	match	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの ACL を指定します。
	show vlan access-map	すべての VLAN アクセス マップまたは 1 つの VLAN アクセス マップを表示します。
	vlan access-map	VLAN アクセス マップを設定します。
	vlan filter	1 つまたは複数の VLAN に VLAN アクセス マップを適用します。

